



市政 PICK-UP

約2年ぶりに寄港

7月20日、岩国港みなと祭花火大会に合わせ、日本クルーズ客船㈱の「ぱしふいっくびいなす」が寄港しました。

ぱしふいっくびいなすは、全長183・4メートル、客室数238室で、世界一周クルーズなども行う豪華客船です。船内にはロイヤルスイートなどの客室をはじめ、シアターやプール、スポーツジムなども完備しています。

この日、瀬戸内クルージングを経た乗船客約400人を乗せ、

豪華客船 ぱしふいっくびいなす

約2年ぶりに寄港した客船を迎えようと、岩国港で歓迎セレモニーが開かれました。福田良彦市長が「ようこそ、自然豊かな国際都市へ。ゆつくり岩国を堪能してください」と歓迎の言葉を述べると、由良和久船長は「以前、岩国に寄港した時は桜がきれいな時期で、錦帯橋などの美しい観光地が印象的でした。今回も十分に楽しみ、また今後も岩国には度々訪れたいです」とあいさつされました。

観光振興課 ☎ 51116



空港好調、さらに「がんばろう」



7月10日「岩国錦帯橋空港利用促進協議会総会」が、市内のホテルで開催されました。

協議会構成メンバーの県東部10自治体、7商工会議所、10商工会、12観光協会、2民間企業の41団体から約50人が出席し、昨年度の初便歓迎式、開港記念イベント、10万人達成記念セレモノーなどの事業報告や、今後の事業計画である広島西部地域でのPR、開港1周年記念式典などの審議・承認が行われました。



▲議長として進行する福田良彦市長

岩国錦帯橋空港 利用促進協議会総会

また、併せて空港利用者を対象に行われたアンケート調査の結果も報告され、搭乗率70%をキープしている好調の要因や今後のPR課題などが明らかになりました。

最後に、登場した県東部各地のご当地キャラクターと出席者が共に「利用促進がんばろうコール」を力強く行って今後の氣勢を高め、総会を締めくくりました。

図空港利用促進室 ☎ 5010



▲利用促進がんばろうコールをする出席者

7月30日、福田良彦市長が会長を務める、幹線道路の早期整備などを目的とした3つの期成同盟会の合同総会および意見交換会（岩国圏域の道路を考える会）が市内のホテルで開催されました。

幹線道路 期成同盟会総会

また、総会後には、岩国南バイパス南伸の早期実現を求める36、144人分の署名簿が、民間の同盟会などから福田市長へ提出されました。

意見交換会では、空港アクセスや企業誘致など、さまざまな観点から岩国大竹道路の早期整備が必要といった意見が出るなど、活発な意見交換が行われました。

図都市計画課 ☎ 5006

岩国大竹道路などの早期整備を



▲合同総会であいさつをする福田良彦市長



▲意見交換会（岩国圏域の道路を考える会）